

「第六回 日銀グランプリ」 「キャンパスからの提言」 論文募集中!

▼日本銀行では、今年度も大学生の皆さんを主な対象として「日銀グランプリ」キャンパスからの提言」を実施します。小論文による予選を勝ち抜いたチームが、日本銀行本店において、日本銀行副総裁が審査員長を務める審査員の前に、プレゼンテーションや質疑応答を行って決勝を競います。

課題は、「わが国の金融への提言」。わが国の金融に関するものであれば、どのようにテーマを設定いただいても構いません。

例えば、「日本経済の将来のため



日銀グランプリ決勝の様相

に、金融の持つ機能を通じて実現したいこと」「日本銀行についての私の意見」なども、切り口の例として考えられます。

今回は、「特別賞」を設けました。この賞は、日本銀行の政策や業務に関連する提言の中から選ばれます。「最優秀賞」や「優秀賞」と併せて受賞することもできます。

学生の皆さん、「ぜひ実現してみたい」と思う提言を、「日銀グランプリ」にぶつけてみてください!

小論文の応募の締め切りは、二〇一〇年九月二十八日(火)です。決勝は十二月に実施する予定です。

詳しくは日銀HPをご覧ください。

<http://www.boj.or.jp/type/release/adhoc10/grand1004.htm>

【お問い合わせ先】

日本銀行情報サービス局

総務企画担当

〇三―三三七七―二四〇五

「日銀春休み親子見学会」開催 および「日銀夏休み親子見学会」 のご案内

▼日本銀行本店では、四月一日(木)、二日(金)の二日間にわたり、



本店見学



お札の数え方体験



1億円の重さ体験

「春休み親子見学会」を開催しました。

今回の見学会には、合計三九組八〇名の皆さまにご参加いただき、本店内の見学や、親子クイズ大会、一億円の重さ体験、お札の数え方

などの体験学習に加え、今回は日本銀行の仕事や役割を分かりやすく説明する時間、「これで今日から！にちぎん博士」を新たに設け、参加された皆さまに日銀やお金について楽しみながら学んでいただきます。

なお、今年の夏休みについても親子で参加していただける同様のイベントを計画しております。どうぞご期待ください。

【お問い合わせ先】

日本銀行情報サービス局

見学受付

〇三―三二七―二八二五

夏休みに貨幣博物館の重さ体験・学習シートで楽しく学びませんか？

▼貨幣博物館では、常設展の展示資料をより深く理解していただくため、貨幣の重さ体験のコーナーを設けています。

その一つ「分銅金」は、重さ約三七五グラムの高品位の金塊です。

実物の分銅金（尾張徳川家伝来）

の美しい細工をご覧ください、その重みを体験展示で実感してください。大判（レブリカ）や一億円（模擬バック）の重さも体験できます。

また展示の理解の助けとするため、小学校中・高学年生向け、中学生以上の方向けの学習シートをホームページ（学習資料・論文コーナー）に掲載しています。印刷・ご持参いただき、展示を見ながら、クイズに答えて楽しく学んでいただければと考えております。

【開館時間】 九時三十分～十六時三十分（入館は十六時まで）

※休館日等詳細は貨幣博物館HP



小分銅（分銅金）の重さ体験

をご覧ください。

<http://www.imes.boj.or.jp/cm/>

【入館料】 無料

【場所】 東京都中央区日本橋本石町

一―三―

【お問い合わせ先】

〇三―三二七―三〇三七

日本銀行旧小樽支店

金融資料館特別展

「アメリカニ五セントの旅

全五〇州のデザインを

一挙公開」～九月五日まで

▼日本銀行旧小樽支店金融資料館

は、地元小樽や札幌からの小・中・高校生、市民の皆さま、道内外・海外の観光客など多くの方々にご来館いただいております。二〇一〇年四月二日に、開館（二〇〇三年五月十四日）以来の来館者数が七〇万人に達しました。

金融資料館では、現在特別展を開催しており、今後も皆さまに親しんでいただければと考えております。

今回の特別展では、アメリカ



日本銀行旧小樽支店金融資料館

五〇州それぞれの歴史や伝統を象徴する図柄を裏面にデザインしたアメリカのニ五セント硬貨「50 State Quarters®」を一堂に集め、ご紹介いたします。

【開館時間】 九時三十分～十七時（入館は十六時三十分まで）

※休館日等詳細は金融資料館HPをご覧ください。

<http://www3.boj.or.jp/otaru-m/>

編集後記

■このたび編集長に就任いたしました。広報誌の編集という性格上、同人誌や雑誌の編集とは異なり、興味本位だったり読者の嗜好に迎合したりではいけないと思っていますが、さらに理想を言えば、一方通行ではなく、作成者が誌面に込めた思いと読者の興味関心が、相互に補完し高めあって充実した広報誌の存在につながっていくよう、頑張りたいと思います。と、理想は高いのですが、現実問題としては、インタビューや人物・特産物等のご紹介のためさまざまにアイデアを出していかなければならず、これまでの日銀マンとしての職業人生における蓄積が問われることになりそうで、戦々恐々としている毎日です。もちろん、それなりの腹案はあるのですが、使える資源に限界がある中で、本当に実現できるのかどうか……。どうぞお手柔らかにお願いいたします。（大川）

■境港市の水木しげるロードに一步足を踏み入れると、パニラの甘い香りが漂ってきました。おいしそうなの香りは、妖怪キャラクターをモチーフにしたお菓子の実演販売店からのものでした。お菓子の包装紙には、境港についての楽しい情報が掲載されており、充実した内容でした。最後の取材先を後にする頃には、辺りは夕暮れ時に。ロードに並ぶブロンズ像が、店舗軒先の照明に照らされて、青白く光っていました。中でも一際目立っていたのは、魚をくわえた「ねこ娘」の像です。暗闇に輝く姿は、とても怪しく印象的でした。（MK）

※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDF ファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。
(<http://www.boj.or.jp/type/pub/nichigin.htm>)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解については、日本銀行ホームページ (<http://www.boj.or.jp/>) をご覧ください。

にちぎん 2010 年 夏号
編集・発行人 大川昌利
発行 日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町 2-1-1
☎ 03-3277-2405

デザイン 株式会社市川事務所
印刷 株式会社美松堂
© 日本銀行情報サービス局 禁無断転載

※本誌の用紙は、環境・社会・経済のすべての側面に配慮した厳しい基準に従って適切に管理された森林からの木材を原料としていることを示す、FSC 認証紙を使用しています。

平成二十二年度 「金融教育フェスティバル」の お知らせ

▼金融広報中央委員会（事務局
日本銀行情報サービス局内）は、
金融や経済の基礎を楽しく学べる

【入館料】無料

【場所】北海道小樽市色内一―一―

一六

【お問い合わせ先】

〇三四―二―二―

体験型イベント「金融教育フェス

ティバル」を、平成二十二年度中
に全国七カ所（注）で開催します。

本年度は、講演会（東京会場では、

パネルディスカッション）、親子の

ためのおかねの広場（キャラクタ

ーショー、参加型ゲーム等）、教員

向けセミナー（東京会場を除く）、

大人向けの金融教育セミナー（東

京・北海道・岡山・千葉）のプロ

グラム等を実施します。その他、

金融教育に関する資料を提供する

コーナーを設置します。参加無料、

原則事前申込制です。お申し込み

の受け付けは、開催の約二カ月前
より開始します。詳しくは、金融

教育フェスティバル公式サイト

<http://www.festival2010.jp/> を

ご覧ください。皆さまのご参加を

お待ちしております。

（注）高知県高知市（七月二十五日）、

三重県四日市市（八月二十一日）、

鳥取県米子市（十月九日）、東京都

（十一月六日）、北海道札幌市（十一

月二十日）、岡山県岡山市（十二月

二十三日）、千葉県千葉市（二十三
年一月八日）



© DENTSU INC. キャラクターショーに登場する「豆しば」